



発表朝会

9月4日（月）、2学期1回目の発表朝会が行われました。この日は、3年生の比嘉大吾郎さん、下門きよか先生が発表を行いました。最初に大吾郎さんの発表では、3つの頑張りたいことがあるということで、1つめに、「家での自主学習に取り組むことで苦手な勉強をがんばること」、2つめに、「何事にも自分に負けることなく当たり前のことをしっかりできるようにすること」、3つめに、「委員会活動の委員長として、みんなが気持ちよく学校生活ができるよう責任をはたしていくこと」と決意を述べてくれました。次に、きよか先生は、「伊平屋に来て思ったこと」ということで、これまでは、運動をするに関心をもつことがない生活を送っていたが、伊平屋中に赴任して、毎日部活動などで一生懸命に走っている生徒の皆さんの姿を見て刺激を受け考えが変わったこと、ムーンライトマラソンにもエントリーしたことを話してくれました。そしてもう一つ、きよか先生の好きな歌の歌詞の紹介をとおして、言葉の意味や伝えたいメッセージを解説してくれました。生徒の皆さんへの激励の言葉にもなったのではないかと思います。



少年の主張

9月3日（水）、東村で「第40回少年の主張国頭地区大会」が開催され、本校からは2年生の新城にこさんが代表で参加しました。自身が実際に経験したことを題材に「私を変えた言葉」という演題で発表し、優良賞を受賞しました。大勢の聴衆を前に大きな緊張もありながら一生懸命に発表することができました。今後、様々な場で多様な人達と関わっていくと思いますが、表現力などを磨く良い機会になったのではないのでしょうか。



科学賞作品展

夏休みに理科の先生と一緒に取り組んだり、個人で研究を重ねた自由研究ですが、このほど国頭地区児童生徒科学賞作品展に作品を出品し、6名が銅賞を受賞しました。氏名・作品名は以下の通りです。

今後も身近な生活の中から科学を研究することとおして、好奇心や探究心を持ち続け、理科の学習などに生かしていった欲しいと思います。

- ・宮城秀留「色と太陽熱吸収の研究」
- ・安里琉希「炭酸飲料で歯は溶けるのか」
- ・嘉納陽大「ジュースに含まれる砂糖」
- ・仲本梨里「身近な植物色素を使った酸性・アルカリ性変化の色比べ実験」
- ・是枝怜「どんな時に菌がついているか・菌は何が嫌いなのか」
- ・麻生優月「環境に優しいビニール袋」